

## 地震活動の評価に基づく地震発生予測システム:

### 標準予測モデルの構築へ向けて(2)

日時: 2011年7月12日(火)-13日(水)

場所: 気象研究所第一共用室

#### プログラム

【2011年7月12日(火)】

・9:00-12:00 特別セミナー“第一回実践的 ETAS 講習会”

講演: 尾形良彦 (統計数理研究所)

座長: 楠城一嘉

・13:00-18:00 研究集会1日目“地震活動の評価に基づく地震発生予測システム: 標準予測モデルの構築へ向けて(2)”

13:00-13:05 平田直 (東京大学地震研究所) 開会のあいさつ

・座長: 鶴岡弘

13:05-13:25 岩田貴樹 (早稲田大学)

Global CMT カタログにみられる大地震発生後の一時的な地震検知率低下

13:25-13:45 岡田正実(気象研究所)・内田直希(東北大学)・青木重樹 (気象研究所)

(仮題) 2010~11年の相似地震確率予測

13:45-14:05 熊澤貴雄 (総合研究大学院大学)

Smoothing for non-stationarity with the ETAS clustering

14:05-14:25 松原誠 (防災科学技術研究所)

活断層・地震発生場における地震波速度構造の特徴的分布

14:25-14:35 休憩 (10分)

・座長: 横井佐代子

14:35-14:55 井元政二郎 (防災科学技術研究所)

(仮題) 地震波速度に基づく地震確率モデルの改良について

14:55-15:15 弘瀬冬樹・前田憲二 (気象研究所)

G-R 則からのずれに基づいた大地震の予測の可能性

15:15-15:35 山科健一郎 (東京大学地震研究所)

予測モデルの向上を目指して

15:35-15:55 楠城一嘉・鶴岡弘・横井佐代子 (東京大学地震研究所)・尾形良彦 (統計数理研究所)・G. FALCONE (INGV)・平田直 (東京大学地震研究所)・石垣祐三 (気象庁)・

T. H. JORDAN (USC)・笠原敬司・小原一成 (東京大学地震研究所)・D. SCHORLEMMER (USC)・  
汐見勝彦 (防災科学技術研究所)・J. ZHUANG (統計数理研究所)

2011年東北地方太平洋沖地震の余震発生予測検証実験：序報

15:55-16:05 休憩 (10分)

・座長：岩田貴樹

16:05-16:25 鶴岡弘・楠城一嘉・横井佐代子・平田直 (東京大学地震研究所)

テストセンター基盤環境の現状

16:25-16:45 横井佐代子・楠城一嘉・鶴岡弘・平田直 (東京大学地震研究所)

地震活動評価に基づく地震発生予測実験の結果報告－3ヶ月予測と1年予測－

17:05-17:25 Smyth, Christine Wendy (京都大学防災研究所)

Earthquake Forecast Enrichment Scores：地震予測の評価手法

17:25-17:45 姫野哲人 (極地研究所)・楠城一嘉 (東京大学地震研究所)

L-テストの改良とその性質

17:45-18:05 尾形良彦 (統計数理研究所)

予測におけるモデル因子の評価法

【2011年7月13日(水)】

9:00-12:30 研究集会2日目“地震活動の評価に基づく地震発生予測システム：標準予測モデルの構築へ向けて(2)”

・座長：石辺岳男

9:00-9:20 前田憲二・弘瀬冬樹 (気象研究所)

前震の統計解析に基づく東北地方太平洋沖地震の予測可能性

9:20-9:40 楠城一嘉・平田直・小原一成・笠原敬司 (東京大学地震研究所)

2011年東北地方太平洋沖地震に先行するb値の時空間変化

9:40-10:00 松浦律子・岩佐幸治 (地震予知総合研究振興会)

東北沖の相対的地震活動度の長期静穏化のその後－2008年研究集会以降の展開－

10:00-10:20 石川有三 (産業技術総合研究所)

東北地方太平洋沖地震前後の地震活動変化

10:20-10:35 休憩 (15分)

・座長：楠城一嘉

10:35-10:55 石辺岳男・島崎邦彦・佐竹健治・鶴岡弘 (東京大学地震研究所)

2011年東北地方太平洋沖地震による首都圏における地震活動変化

10:55-11:15 遠田晋次 (京都大学防災研究所)

東北地方太平洋沖地震後の活断層の地震発生確率再算定

11:15-12:30 ビジネスミーティング